

令和4年度 事業報告

◆ あじさい園

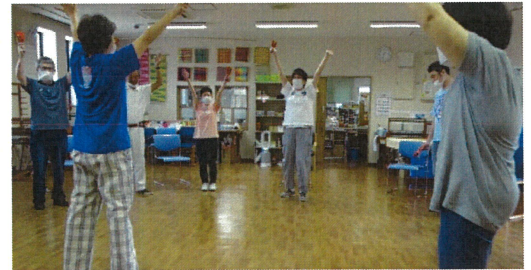
1. 登録状況

登録者数	障害別			男女別		平均年齢
	知的障害	身体障害	精神障害	男性	女性	
31名	21名	4名	6名	12名	19名	35.8歳

2. 成果・結果

事業全般：新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年であった。事業所の休業(4日)や感染症の影響により、利用並びに出勤できない利用者、職員も数多く生じた。それらの状況は稼働の低迷や、十分な職員体制が整えられないことによる現場職員の負担増加にもつながった。しかし、厳しい状況の中でも、様々な工夫を凝らしながら利用者の意欲向上と楽しみにつながる行事を行うことができた。1月には「二十歳のお祝い」を実施し、2名の新成人をみんなで祝うことができた。毎月の創作活動も感染対策を講じながら継続して実施することができた。令和4年度は施設・設備の老朽化対策にも取り組んだ一年であった。厨房空調設備の更新や、補助金を活用して本棟照明のLED化を実現できた。

生産活動：コロナ禍であっても利用者は各々の得意分野でそのスキルを活かしながら活躍することができた。こうした取り組みは、新たな事業の受託や自主製品の売り上げ増につながり、令和4年度は過去最高の実績を残すことができた。利用者の工賃を月額ベースで約3,000円増額することができた。また、事業を通して地域との関りも進み、利用者の社会参加にも大きな影響を与えることができた。令和5年度では、ふるさと納税返礼品となるトイレトーパーを新規に企画して、生産活動の更なる充実を図りたい。



3. 課題

引き続き事業所内での感染拡大を防ぐことが大きな課題である。治療法が確立されていない中で、難病や基礎疾患を抱える利用者の不安は依然大きく、これまでの経験を活かしながら適切に対応していきたい。職員も大きな重圧と疲労を抱えているため、労務管理も重要になってくる。生産活動の更なる充実と、お客様や地域の信頼向上を目指すとともに、利用者の支援の充実や障害福祉の啓発を進めていきたい。また、令和5年度は健康管理の取り組みの充実を目指していきたい。その一つとしてレクリエーションの充実も図っていきたい。



◆ ひより舎

1. 登録状況

登録者数	障害別			男女別		平均年齢
	知的障害	身体障害	精神障害	男性	女性	
25名	13名	4名	8名	14名	11名	51.8歳

2. 成果・結果

新型コロナウイルス感染症や、大雪による臨時休業があったが、年度通しての利用率は74.8%と昨年度比較しても大きく変わらない数値であった。しかし、職員体制が整わない日も多く、日々の運営は非常に厳しい状況であった。就労支援事業については昨年度と比べると改善傾向にあり、収支も良かったところの数値に戻りつつある。毎月定例開催のひよりカフェについては、感染対策を講じながら一年間継続して行うことができた。テイクアウト主体の開催ではあったが、利用者はやりがいやモチベーションを維持・向上しながら取り組むことができた。また、焼き菓子製造販売事業についてはひより舎の定番事業として定着しつつある。



3. 課題

利用者の高齢・重度化が進む中で、生活介護事業の定員の拡大や、新規利用者の確保など具体的な体制づくりが急がれる。利用者のニーズや抱える課題も年々複雑化する傾向にあり、職員の更なる専門性の向上と、多職種連携によるチームケアの体制構築が求められる。就労支援事業では事業の販路拡大や、商品の品質に取り組んでいきたい。併せて地域やお客様に向けての広報、情報発信力を高めていく必要がある。また利用者の工賃維持及び向上に努めると同時に、1人ひとりがやりがいを感じ、自己実現できる環境を整備し、一般就労につなげていきたい。



令和5年度 事業計画

◆ あじさい園

就労継続支援B型事業

- (1) 働く環境での基本的な事柄を身につけるべく、あいさつや返事、相談や意思表示ができるように支援し、モニタリング時に習得状況の確認を行う。
- (2) 一般就労と新規利用者の受け入れが循環的に実現できる仕組みを構築していく。モニタリング等で一般就労の意志を確認し、希望者する方は関係機関へ連携する。就労した人の相談サポートも行う。

生活介護事業

一人ひとりのリズムやペースを大切にす。作業や創作的活動、好きなことに取り組むことで、その方にあった安心できる一日の過ごし方を構築する。

両事業共通事項

利用者支援の強化

- (1) 家族・関係機関との連携を強化して利用者の生活の質の向上を目指す。
- (2) 音楽療法を継続し、利用者の心身の健康の維持向上に努める。
- (3) 作業スペースの整理並びにレイアウト変更を行い、安全かつ心地よい環境提供に努める。
- (4) 利用者のニーズ把握に努め、利用者の希望や思いに寄り添う支援を提供する。

生産活動の更なる充実

- (1) 商品の質の向上と新規販売先の確保に取り組み、就労支援事業収入の増額を目指す。トイレットペーパーをふるさと南丹応援寄付金(ふるさと納税)返礼品に出品する。
- (2) 受託や下請け事業では契約内容・仕様・期日を守り、責任ある仕事で信用を維持する。利用者が自立して取り組める環境の提供と、やりがいや達成感が得られるよう支援する。
- (3) アルミリサイクル事業では定期的な回収と分別作業を実施する。地域の美化と衛生を保ち、資源の有効活用に貢献する。
- (4) 工賃の単価の引き上げを検討し、利用者のやりがいと意欲を更に高めていく。

事業運営の安定

- (1) 予算・実績管理の徹底と職員の経営意識の向上を目指す。
- (2) 感染症対策を継続し、安定した利用率が確保できるよう様々な工夫を行う。
- (3) あじさい園の活動を通して社会に貢献し、障害の理解と啓発に努め、地域に必要な事業所づくりを目指す。

人材育成

- (1) 強度行動障害支援者研修、虐待防止研修を各1名以上受講する。
- (2) 月例会議を更に充実させ業務だけでなくチームワークの向上につなげていく。

◆ ひより舎

就労継続支援B型事業

- (1) 商品の質の向上と新規販売先の確保に取り組み、就労支援事業収入の増額を目指す。
- (2) 利用者がやりがいや自信・誇りを感じながら仕事に取り組み、個々のスキルの更なる成長につなげていけるよう、支援内容の充実を目指す。

生活介護事業

- (1) 利用者の日常生活が豊かになるよう支援の幅を広げていく。
- (2) 日常生活力の維持向上を目指す。モニタリング時に確認や相談を行う。

両事業共通事項

事業運営の安定

- (1) 「ひよりカフェ」をはじめ、様々な事業を通して地域とのかかわりを強化していく。
- (2) 年間通して安定した利用率を確保する。令和5年度目標利用率 年間平均 77%

利用者支援の強化

- (1) 多様化するニーズに柔軟に対応できるようチーム支援の強化を図る。定例会議で支援内容を共有し、全職員が利用者の支援計画を把握する。
- (2) 事業所と地域の連携強化及び発展に取り組み、個別支援の充実・強化を目指す。
- (3) 市内関係者とのネットワークを充実させ、支援の幅を広げていく。

人材育成

職務や研修、自主的な取り組みを通して、様々な状況に対応できる人材育成に取り組んでいく。